



片柳中学校だより

# 片 柳

第3号 令和8年5月29日発行

さいたま市立片柳中学校

さいたま市見沼区大字御蔵551

TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

## 人を大切にすること

校長 佐久間 貴宏

人は本来、善い心を持って生まれるのか。それとも、努力や環境によって善さを身につけていく存在なのか。古代中国の思想家・孟子の性善説と、荀子の性悪説は、戦乱や社会不安が続く時代に、「人間とは何か」を真剣に問い続けた結果として生まれたようです。この二つの考え方は異なるようでいて、実は共通している部分があり、人はよりよく生きるために育てられ、磨かれなければならない存在であるという視点をもっていることです。

現代の私たちもまた、戦争が続き、貧困や格差が解消されない世界に生きています。SNSが隆盛し、情報があふれ、価値観が多様化する中で、他者への想像力が薄れやすい時代でもあります。だからこそ、古代の思想家たちが向き合った「人間とは何か」という問いは、今を生きる私たちにとっても決して遠いものではありません。

6月はさいたま市教育委員会が設定している「いじめ防止強化月間」です。いじめは、単なるトラブルではなく、人の尊厳を傷つける行為であり、人間の根源に関わる問題です。性善説から見れば、本来の“善さ”が曇ってしまった状態であり、性悪説から見れば、努力や環境によって“善くなる力”が十分に育まれていない状態とも言えます。国が定めた生徒指導提要でも、いじめ防止の根拠として「一人一人の生命・人権を尊重する教育の推進」が明確に示されています。これは、いじめ防止が単なる指導の一分野ではなく、学校教育の根幹に位置づけられた使命であることを意味します。

どの学校でもそうですが、本校でも生徒が安心して学び、自分らしさを発揮できる学校づくりを進めています。そのために、(1)相手の立場に立つ姿勢、(2)対話を通じた関係づくり、(3)困ったときに相談できる環境づくり、を大切にしながら、教職員・保護者・地域と連携しながら取り組んでいるところです。

最後に、結論はとてもシンプルです。『いじめは、どんな理由があっても、決してしてはいけない。』これは道徳や規範以前に、「人として守るべき最低限の約束」です。6月のこの機会に、自分の言葉や行動が誰かを傷つけていないか、困っている友達に手を差し伸べられているか、改めて振り返る時間にしてほしいと思います。

### 性善説 (孟子)

人は生まれながらに「思いやり」「恥じる心」「正義感」などの善い性質を持つ。

ただし、その善さは環境や努力によって育てなければ失われてしまう。

### 性悪説 (荀子)

人は放っておけば利己的になりやすく、争いも生まれる。

だからこそ、教育や社会の仕組みによって善い行いを学び、身につける必要がある。

両者は対立しているようでいて、「人はよりよく生きるために育てられ、磨かれるべき存在である」という点で共通しています。「性善説」「性悪説」という言葉だけでとらえてしまうと見えてこないことですね。また、これらの思想は当時の時代背景なども強く影響しておりますので、歴史が好きな人でもっと詳しく知りたい人は調べてみましょう。